天元養氣圓

價 壹錢 金壹朱 半錠 金壹朱

抑医の人八神武の業世すして徒らに百年を経もいまだ未だ長寿の人多し尚附の人全く陽衰して
さまざまの病を自ら病を知らざるの人多し其病を知ざるの人は其病を知ざるの故に病を
かんぜざるの極也たとへ病を知るとも病の本源を治せざるの故に病を治せざるの人
たとへ薬のいつわりと病の本源を治せざるの故に病を治せざるの人
なる人神仏のかなもとく自然絶命す中にて薬力も尽るかなべし能く決勇を行べきものなり

○かんせう○かんぜう○かんせん
○ちゑくさいん○せんーやく○ぜんそく
○たんせき○ずつう○ちゆうかん
○ちゆくらん○おこり○ひつけ
○ちらつく○ちらつく○めまひ
○動きまつめ跳ねさとるの初也法病さ人事付附
衣をつくの悪血業をも明像に通ずる極ず陽ーしさ
功験あるの法金ゆ神代まりの多ふ行ふ
ちらふとところにはたとへ暗家たりともたくまず
助力ありのごとし多ふ神猛ちゆめなるも去べし

五臓之約圖

小兒健脾圓

價 壹貼三文 壹ツ三ヒ

○まきやう ○ひきつけ
○てんかん ○ねつぼう
○ちらくだり ○ひやとそん
○ざつけ ○ちらいこみ
小兒の病たるもの必ず胃の虚と脾の弱とに因
ばかりなるべし中にて急症と発熱と陰陽の
生ずるの症多くして発熱と陰陽の
生ずるの症多くして

○ちらつく ○ねつぼう
○ちらいこみ
○ちらいこみ
○ちらいこみ